研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-162		20-073	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Association between Exposure to Alcohol's Harm to Others and Health-Related Quality of Life in Korean Adults: A Nationwide Population-Based Study

韓国の成人におけるアルコールの他人へ及ぼす害と健康に関する QOL との関連：全国調査

執筆者

Eum MJ, Choi MJ.

掲載誌

Int J Environ Res Public Health. 2021 Mar 8;18(5):2714. doi: 10.3390/ijerph18052714.

キーワード	PMID
人口、他者へのアルコールの害の暴露、健康関連の生活の質	33800243

要　旨

目的：個人の飲酒により、他の人々の健康、安全、生活の質に及ぼされる悪影響は、アルコールの他者への害（AHTO）として知られている。AHTO には様々な害が含まれており、受動喫煙と同様に、受動飲酒も公衆衛生上取り組むべき重要な課題と考えられている。この研究では、全国の代表サンプルを用いて AHTO と健康に関する生活の質（HRQoL）との関連を明らかにすることを目的とした

方法：2016～2018 年の韓国国民健康栄養調査から 19 歳以上の韓国人 17,346 人のデータを用いた。AHTO は、仕事や日常生活での（１）騒動、（２）暴行、（３）性的ハラスメント、（４）事故のいずれかに回答があり、これに加えて（または単独で）、（５）飲酒に関連した事故の経験について回答があるものを曝露ありと定義した。HRQoL は European Quality of Life-5 Dimensions（EQ-5D）指標を用いて評価した。AHTO への曝露と HRQoL との関連は重回帰分析を用いて評価した。また、AHTO への曝露と EQ-5D の 5 つの次元（“問題なし”0、“問題あり”“とても問題あり”を 1）との関連性については、多重ロジスティック回帰分析により解析した。

結果：AHTO への曝露と EQ-5D スコアの低下との間には、有意な正の関連が認められた（$p = 0.022$）。重回帰分析の最終モデルでは、AHTO 曝露群では、非曝露群に対して、HRQoL は 0.932 ポイント低下した（$R^2 = 36.5\%$、$p < 0.001$）。また、AHTO 曝露群では、AHTO 非曝露群と比較して、疼痛・不快感（OR：1.42、95%CI：1.15-1.75）、不安・抑うつ（OR：1.55、95%CI：1.68-2.80）のオッズ比が有意に高かった。

結論：本研究の結果は、AHTO への曝露が HRQoL の重要な予測因子であることを示した。また身体的に健康な成人であっても、AHTO に曝露した経験のある人の痛み・不快感や不安・抑うつを考慮する必要があることが明らかになった。AHTO 被害者の症状を軽減するためには、曝露した際の介入方法についてさらなる研究が必要である。